

道民の願い、実現へ今年も

全力投球

炭鉱遺産の保存・改修を



菊地葉子・宮川潤両議員は、三笠市・赤平市へ北海道遺産として登録されている旧産炭施設の調査を行いました。

私学助成の拡充を切実な要望を受けとる



私学助成拡充求める要請を真下紀子・菊地葉子両議員が受け、懇談しました。

平和 我が物顔で飛行するオスプレイ 高橋知事は事実上容認



橋本彰人危機管理監に要請する道議団

安倍政権の下で憲法改正が狙われる中、戦争する国づくりへの地ならしともいえる事態が進んでいます。

8月の日米共同訓練で初めてオスプレイが道内を飛行し、沖縄以外では初となる夜間訓練も実施しました。日本共産党道議団はオスプレイ飛行中止を求める申し入れを行いました。

宮川議員は代表質問で「オスプレイ飛行は中止を求めるべきだ」と強く求めました。高橋知事は、オスプレイ飛行を事実上容認する態度をとりました。

教育 道教委が人事協議で労組加入を調査 =教育長「誤解生じないように今後見直す」と答弁=

道教委は文科省から依頼を受け、1958年から学校長を通じて教職員に知らせずに組合加入の有無を調査し、報告していたことがわかりました。また、人事異動の協議の場で学校長に教職員の組合加入を確認していたことが共産党道議団の調査で明らかとなりました。

真下議員は「組合加入は個人の自由であり憲法に定められた基本的人権です。組合加入の如何をもって何らの制約も受けるべきではなく差別選別や不利益につながることはあってはならない」とのべ、調査の見直しを求めました。



真下紀子議員

柴田達夫道教育長は「実態調査については職員団体に協力を求める」「人事協議での聞き取りは今後見直す」と明言しました。

農業

TPP・EPAから北海道農業を守れ

関税の削減・撤廃で、輸入増が懸念される農産物。日欧EPAで、ヨーロッパ産チーズなど乳製品が、低価格で国内市場に出回ることになります。

菊地葉子議員は、北海道で生産される生乳の8割以上が加工乳と指摘し、「道内酪農への打撃を最小限に抑えるための具体的対策と、国際貿易交渉からの撤退を国に求めるべき」と迫りました。高橋知事は、国内の消費拡大などにより「輸入量は国内乳製品の需要を損なわない範囲にとどまる」と、楽観的な見方を示しました。



菊地葉子議員

いくら泥棒



サケ盗難被害対策の強化を

岩内町などのふ化場で、サケが盗まれ、卵(いくら)を取りだした後、魚体を投棄する事件が起きています。

宮川議員は、水産林務委員会で「全道で盗まれた80万粒のサケの卵は、数年後に約3万尾のサケになるはずで、被害額は1億円にも達する規模だ。対策と卵の確保はどうか」と質問しました。

水産局長は、「防犯設備の設置、密漁取り締まりを強化する。卵の不足には、隣接する地区から供給する」と答弁しました。



宮川潤議員

出産

安心出産事業を全ての市町村で

出産できる医療機関の減少に伴う妊産婦の健診・分娩の負担を軽くするため、共産党道議団が9年前から何度も提案してきた交通費・宿泊費を助成する安心出産事業が16年度から開始されました。交通費の助成対象99市町村のうち16年度は66市町村で、17年度は80市町村で導入され拡がっています。佐野議員の決算委員会質問に道は「一層の拡大に向け、未実施市町村への働きかけを広くPRする」と答えました。



佐野弘美議員

原発 北海道は原発推進団体から脱退せよ

原発推進団体の「日本原子力産業協会」(原産協会)に、北海道は1957年から加盟を続けていることが、道議団の調査で明らかになりました。高橋知事の選挙公約は「原発に依存しない北海道を築く」。佐野議員は、福島第一原発の事故後に福島県が脱退したことを示し、「原発推進団体との関係を断ち切るべき」と追及。高橋知事は「原産協会からの情報収集は有益」と加盟に固執する姿勢を続けました。